

# 持続可能な生産と消費

何をすべきか？

1. 市民性の向上
2. 消費者教育 (SDリテラシーを)
3. 業界の常識への知レシジ (KHの共有  
他業界へ)
4. 地域の活性化 (お金のおちる仕組み)
5. サプライチェーンの見直し

6. 調達をおこなう知レシジ (コスト負担)

- 公共調達
- B to B (企業市民)
- 市民レベル (若い世代)

○ SR 円卓 人を育くむ WG と ④  
ESD との連携:

投資 才25% 個人・機関 ①

個人, 組織 = 共通性

意識の高い人 / 一般の人

業務に 社会的 問題意識 ↑  
商の南産にSRを組み込む 他一般の社員の  
7.11 Eの社員教育 最低限身に対してはSR教育

生活レシビ ... ハッピーに感じる商品 ②  
の南産 JSTとEPO  
無関心層へのアプローチ

情報不足 十件のボイコット  
環境 / 児童 製品 日本vs欧米  
カリキュラム化 小中高大(経済学)  
消費者市民教育 (家庭科教科書)

ビジネスリーダーへの教育 ③  
" スクールのカリキュラム  
「明日の経営を考える会」 GC-JN  
自治体の人 も ... 川崎市

コミュニティ・ビジネス } の仕組みと  
ソーシャル " } クラウド  
市場化 } 活用  
ボイコット

⑤) KHの共有  
(他業界へ)

53任組)

シ (コスト負担)

と ④

1. 資 (系)

2. 業

3. 商

1. 資源配分の業績  
(社会最適) 断的  
議論  
(特に子ども)

2. キャリア教育  
⇒ 本質を伝える.

資料の偏在.

3. 問題と自分事  
として伝える.

+ 正確さ

+ 分かりやすさ.

# 理解

関心 → 行動

・ 楽しく学ぶツール

情報をかみくだく

役割 (つなぐ)

・ 企業と団体の協働

イメージ

ネーション

お金の  
と教育